

令和6年度 畜産関係新技術発表会開催要領

趣 旨

近年における畜産を取り巻く情勢変化を的確に捉え、将来に渡って安定した畜産経営を維持し、消費者に安全で安心な畜産物の供給を推進していくためには、新しい技術開発等の情報収集に加え、効率的かつ実用的な技術革新が強く求められています。

本発表会では、関係機関・関係団体と緊密な連携のもと、道内の試験研究機関等が開発した新技術および研究成果を紹介することにより、速やかな技術の普及と定着を目指します。

主 催 北海道畜産技術連盟、一般社団法人 北海道酪農畜産協会

後 援 北海道農政部、日本農業新聞北海道支所

開催日時 令和7年2月21日（金）10：30～17：00

開催場所 札幌市北農ビル19階第2・3・4会議室
（札幌市中央区北4条西1丁目1番地）

発表課題 北海道が「令和7年普及奨励、普及推進並びに指導参考事項」として決定する畜産関係技術を中心に、特に普及効果が大きいと認められる課題（別紙）

特別講演 講師 大石 風人 氏
（京都大学大学院農学研究科 准教授）
演題：酪農生産および肉用牛生産に対する環境影響評価（仮題）

動画配信 講演についてはビデオ録画し、2月末～3月31日の期間、YouTubeで視聴可能とする予定です。（北海道酪農畜産協会のホームページにて案内）

令和6年度畜産関係新技術発表会課題（予定）

令和7年2月21日 10:30～ 札幌市北農ビル19階

課題名（仮）	所属	発表者	時間割
中標津町開陽地域におけるスラリー利活用に向けた4年間の取り組み	根室農業改良普及センター北根室支所	木枝瑛介	10:40～11:00
ICTを利用した分娩管理	家畜改良センター新冠牧場	齋藤 薫	11:00～11:20
産肉ゲノム育種価および発育・体型等を考慮に入れた黒毛和種雌牛の早期選抜実証	畜産試験場	酒井捻史	11:20～11:40
昼 休 み			11:40～13:00
特別講演：酪農生産および肉用牛生産に対する環境影響評価	京都大学大学院農学研究科	大石風人	13:00～14:30
根室管内で分離された牛由来Salmonella Typhmuriurnの分子疫学的解析と薬剤耐性について	根室家畜保健衛生所	後藤真優	14:40～15:00
冬季の哺育牛舎における安全性の高い除菌剤による煙霧消毒の効果	畜産試験場	平野佑気	15:00～15:20
オーチャードグラス新品種候補「北海35号」	北海道農業研究センター	眞田康治	15:20～15:40
トールフェスク「Swaj」、フェストロリウム「ノースフェスト」（補遺）	酪農試験場	中村直樹	15:40～16:00
サイレージ用とうもろこし「P1204」「LG31295」「SL19017」	畜産試験場	今 啓人	16:00～16:20